

令和4年度 肝属川学識者懇談会 議事概要

○開催日：令和4年9月27日（火） 15：00～16：30

○開催場所：Web会議

○主な意見等（青字は事務局からの回答）

《肝属川総合水系環境整備事業の再評価について》

【水質について】

- ・肝属川では、畜産関係による水質への影響が大きな課題と考えているが、他の協議会、鹿児島県や鹿屋市等と連携をとりながら、対策内容を確認しているのか。
- ・行政機関や畜産関係の方々も水質汚濁防止連絡協議会に参加いただいている。（河川水質への影響については）、畜産だけでなく、生活雑排水や、農業用肥料等も関連しており、あらゆる関係者が汚濁負荷を削減するために様々な取り組みを継続している。
- ・汚濁負荷削減策について、事業者の維持管理、施設の維持管理が非常に大事である。
- ・維持管理については、水質汚濁防止連絡協議会でも確認しながら、各機関の取り組みを継続したいと考えている。

【コスト縮減について】

- ・引き抜いた汚泥は、産廃処分しているのか。肥料は価格が高騰していることから、汚泥と刈草を組み合わせて堆肥化し、販売することでコスト縮減できるのではないかと。
- ・全国的な事例を確認しながら、検討する。

【モニタリング・維持管理について】

- ・今年度以降実施のモニタリングは、何に着目してどのように行うのか。
- ・整備箇所の写真撮影（草木の繁茂状況、土砂堆積状況の記録等）、利用状況の把握（利用人数の把握、イベント時の状況撮影、参加者数の把握）を実施する。周辺施設の湯遊ランドあいらの利用者数の聞き取り調査も予定している。

【利用について】

- ・水辺整備（吾平地区）に関して、完成後この場所でイベントが開催されたのか。新型コロナ禍ということもあり、整備箇所の利用が見えていない。
- ・普段の散策等での利用は行われている。他地域での事例を地元と共有しながら、いろんなイベント等で利用される場にしていきたい。

【委員長まとめ】

- ・肝属川総合水系環境整備事業は、「継続」で問題ない。
- ・「コスト縮減」について、長期的な視点で検討いただきたい。
- ・了解。

【その他】

《肝属川水系流域治水プロジェクトについて》

- ・鹿屋分水路機能向上については、平常時も新たな分派比で分派させることを想定しているのか。
- ・平常時の本川流量を減らすことは考えていない。
- ・洪水時の分派量を増やしたら、車両による分水路の点検が難しくなるのでは。
- ・車両による点検は、これまでも水位が高い時は行っていないので、問題ないと考えている。

以上